

# ビア・カンペシーナがめざす農民と民衆のフェミニズム

【Page 1】（英語版のページ数。以下も同じ）

## 私たちの経験から学ぶ

### 1. ビア・カンペシーナにおいて共同と多様性の力で農民と民衆のフェミニズムを構築してきたとりくみ

- ・農民と民衆のフェミニズムは、食料主権を求めるたたかいに根差している
- ・LVCにおける農民と民衆のフェミニズム

### 2. 「農民の権利宣言」における女性

- ・農民には権利がある

### 3. 女性に対する暴力根絶をめざすグローバル・キャンペーン

- ・キャンペーンの目的と特徴
- ・ビア・カンペシーナの「女性に対する暴力根絶」国際キャンペーンの実施
- ・「女性に対する暴力根絶」キャンペーンのアクションと感想－各領域でのとりくみや女性たちの声から

### 4. 知識を深めるために－ツールボックス

【Page 2】

## 図表一覧

図表 1. 主な用語集

図表 2. ビア・カンペシーナの国際女性総会

図表 3. 食料主権とは

図表 4. ジェンダーの視点を持つ食料主権を求めて

図表 5. フェミニズムとは

図表 6. 農民と民衆のフェミニズムとは

図表 7. 農民と民衆のフェミニズムの特徴

図表 8. 農民の権利はたたかひのツール

図表 9. 「農民の権利宣言」—第 4 条

図表 10. 「女性に対する暴力根絶」キャンペーンの特徴と力

図表 11. LVC の「女性に対する暴力根絶」キャンペーンの行動デー

### 【Page 3】

「これまでの人生で、偉大な女性たちに驚かされてきた。しかし、一番心を動かされたのは、地に足の着いた女性たち。地元の女性たちを思い出す—ジョセファ、ジュリ、カシクタ—村に一体感をつくってくれたおばあちゃんたち。夕方の時間の素晴らしかったこと！トウモロコシの種をまき、ブラシをかけ、照りつける太陽の下、土の中でほこりまみれになって…。私たちはおばあちゃんたちが語る昔話を聞き、蜜でいっぱいの子実を食べて育った。この農民女性たちから、私は何があっても手放せない宇宙を創る方法を与えてもらった。

私は農業の夜明けを感じた。生き生きとした、自由でいつわりのない空間が生まれるのをはっきりと見た。女性、土地、そして食料主権は、母なる大地の宇宙生成論を発展させるために生まれたのだ。これがビア・カンペシーナの起源であり、私が世界中の農村女性の思想に喜びを見出してきた理由だ。

自然と農民の生活を理想化することなく、私たち女性は自らの内面を深く見つめ、伝える。自らがしていることに喜びを感じていると。育てたニラネギと豚と鶏に満足していると。フェミニズムとともにたたかうと。農業と世界を理解する方法の根本的な変化の中で「対象」ではなく「主体」になるために…。

詩「農民女性：大地にキスして飛ぶ」（マル・エギルス）より

### 【Page 4】

#### 序文

私たちビア・カンペシーナ（LVC）はここに、「ビア・カンペシーナがめざす農民と民衆のフェミニズム」を刊行します。その目的は、運動の訓練プロセスを強化し、抑圧と暴力に対抗する政治的ツールとして農民と民衆のフェミニズムを構築することです。もう一つの目的は、農民と民衆のフェミニズムが、私たちが生きる歴史的瞬間の政治課題を明らかにする

中で蓄積してきた歴史の知識を編纂すること、そしてそれによって多様性を尊重する、多元的共生にもとづく運動を構築するための分析と集団的考察に役立てることであります。

この冊子は、4つの章で構成されています。第1章は、ビア・カンペシーナの中で女性たちが獲得してきたことについて、農民と民衆のフェミニズムは集団で作り上げるものだというところまでを振り返ります。第2章は、国連が採択した「農民の権利宣言」に見る女性の役割と、この宣言で獲得された権利を明らかにします。第3章は、ビア・カンペシーナの「女性に対する暴力根絶」グローバル・キャンペーンに焦点を当て、キャンペーンがどのように組織されているか、各領域での経験を紹介します。

最後の章は、考察や議論をさらに進めるためのバーチャル・ツールボックスとして、訓練やコミュニケーションのプロセスに役立つ資料や資材のリンクの一覧を提供します。

## 1. ビア・カンペシーナにおいて共同と多様性の力で農民と民衆のフェミニズムを構築してきた私たちのとりくみ

創立のその時から、ビア・カンペシーナは国際的な運動を構築するとりくみにおいて、行動、権力、代表性のすべてのレベルで農村女性の参加促進を追求してきました。それは広範で民主的な、小農による農業（peasant agriculture）の保護、食料主権及び土地、正義、平等及びあらゆる形態のジェンダー差別と暴力の根絶をめざすたたかいに尽力する国際運動です。

加盟組織における女性の貢献と参加を認めることは、たやすいことではありませんでした。それは特に、社会に根強く残る家父長制と性差別のためです。

これらは運動の一員である同志たちや諸組織の慣行にさえも負の影響を及ぼしています。LVCの女性たちは2つの革命が必要だと言います。ひとつは運動内のジェンダー関係に対する革命、もうひとつはより広く、正義、公平、人間の解放のために社会を変えることをめざす革命です。

とはいえ、この間、女性が中心になって行われてきた集団的な議論や対話によって、ビア・カンペシーナにおけるジェンダー・パリティ（ジェンダーに関して数の上での公正を追求すること）と平等、フェミニズムについて話し合うことや、さまざまな調整の場、政治的代表及び意思決定に女性が参加することは、運動の歴史の中で大変重要な成果になっています。

討論が進む中で、地方での女性たちの仕事の現状や要求、そして歴史を通じて女性たちが世界の食料システムの発展にかかわってきたこともとりあげられ、目に見えるようになっています。家父長制や性差別が残る社会では、フェミニスト運動が引き続き危険なものとなされたために、農民は、土地に対する権利、食料生産、種子の保護と回復のためのたたかいや、暴力に反対するたたかい、そして生物多様性と遺伝資源の保護・保全のとりくみをフェミニズムとして認識していませんでした。

LVCの女性たちは、彼女たちの生活、領域、土地、資源とコミュニティを脅かす**資本主義**、**家父長制**、**性差別**による抑圧、支配、暴力と、日々の暮らしの中でたたかっています。

LVC 内外での女性の行動、主張、参加のプロセスを理解するには、運動の歴史を通じてつくられてきた意思決定のスペース、宣言、行動について学ぶことが不可欠です。

国際総会の一環として開催されてきた国際女性総会は、女性を農村女性として再認識する場となってきました。訓練プロセスを通じて女性のたたかいは正当なものと認知され、女性たちの決定は運動全体のものとして認められるようになっていきます。

## 【Page 6】

**ジェンダー**：社会的・文化的につくられ、男（男性）と女（女性）に異なる役割と能力を定めているもの。関係性は経済、思想、文化の領域で影響を及ぼし、違いを維持し「あたりまえ」のものとして示すために存在している。たとえば、女性にはケアの任務、男性には生計を立てる任務というように。したがって、女性がおこなう仕事は二の次で、男らしさ（男）は女らしさ（女性）に勝るということが、文化的に植え付けられている。

**ジェンダー・パリティ**：政治的代表的地位へのアクセスにおいてジェンダー平等を確保するための出発点。「ピア・カンペシーナは、各組織内での完全な平等、女性と男性両方の価値と参加を認める運動である」。

**家父長制**：人間と自然が経験するあらゆる支配、抑圧、暴力の構造システムで、両性の不平等な関係にもとづき、歴史的に女性の体の上につくられたもの。社会的な男女の役割分業とともに現れ、主として男性に権力を与えた。このシステムは暴力によって女性を支配する、男性が頂点に立つヒエラルキーの存在によって特徴づけられる社会的な関係を示す。

**性差別**：女性に対する男性優位を肯定するイデオロギーの一部となっている信念、態度、行動及び社会的慣行。

**フェミニズム**：公式には 18 世紀の終わりに始まった一当時はまだこの名称はついていなかったが一社会的・政治的運動で、生産モデルのさまざまな歴史的段階で家父長制のもと、男性による抑圧、支配、搾取の対象であったこと、そして今もあり続けていることを、女性たち（集団として、または人類全体として）が自覚したことを意味する。このことは、必要なすべての社会変革によって自らの性の解放をめざす行動へと女性たちを駆り立てている。

## 図表 1 主な用語集

## 【Page 7】

1992年 中米、カリブ海、南米、北米、ヨーロッパの複数の農民農業組織がニカラグアのマナグアに集い、後に「ピア・カンペシーナ」と呼ばれる運動を立ち上げました。

「最初は女性の参加はなかった。これは農民女性の政治的プロジェクトの始まりだったが、定着するまでに数年かかった」

## 1993年 ベルギー・モンス 第1回国際総会

ビア・カンペシーナの中でフェミニズムについての議論が始まったのは、1993年のことです。四大陸の農民代表（女性と男性）のグループが、ビア・カンペシーナを設立しました。少数の女性が初めて参加し、最終的な宣言をより包摂的なものにするために発言し、ジェンダー平等を含む10の活動分野が定められました。

しかし、この場において、国際調整委員には男性のみが選出され、農民女性のことは話題になりませんでした。

### 【Page 8】

## 1996年 メキシコ・トラスカラ 第2回国際総会

第2回国際総会では、国際調整委員会（ICC）への農村女性の参加の確保の重要性について議論が行われました。そこで第1回女性会議が開かれ、北米地域のネティール・ウィーブが初めて女性としてICCへの参加が認められるきっかけとなりました。さらに、女性作業グループもつくられました。後に女性国際委員会となり、現在では「LVC女性連絡会（Women's Articulation of the LVC）」と呼ばれているものです。

同会議において、ジェンダー・バランスの議論に加え、女性たちは自らが家庭及び地域の食料主権に関し中心的な役割を果たしていることを認識するようになりました。また、先住民に領域を返し、土地を持たない小作農にも農地の所有と管理を認める真の農地改革の要求を確認しました。

*「女性は食料生産のための資源、土地、融資、資本、技術、教育や社会サービスと、技能を開発し活用する平等な機会を手にする権利を持っている。農民の家族、特に女性は豊かな土地、融資、技術、市場及び農業改良普及事業を利用できるようにならねばならない。*

（トラスカラ宣言、ビア・カンペシーナ 1996）

**土地への権利には、ジェンダー、宗教、人種、社会階級やイデオロギーによる差別があってはならない。土地はそこで働く人に属するものである。**

最終提案では、農村の農民、先住民や青少年に対するあらゆる形態の暴力とたたかい、非難するための戦略策定の必要性も述べられています。

### 【Page 9】

## 2000年 インド・バンガロール 第1回女性総会、ビア・カンペシーナ第3回国際

## 総会

国際女性総会や女性国際委員会の設立は、ジェンダー・バランスを正式に確立させた 2000 年以降のことです。

「ビア・カンペシーナは、女性と男性の完全な平等と価値を認める運動である。本総会は、農民女性と男性が運動において平等に責任を分かち合うことを保証する構造的な変化を通じて、このことを確認した。私たちは、私たちの運動の中で、開かれた民主的なプロセスの模範を示すことをめざす」

(バンガロール宣言、ビア・カンペシーナ、2000 年)

### 【Page 10】

LVCの第1回女性総会は、「農民の権利憲章」と呼ばれるものが女性への暴力への反対を明確に示していないことを分析したうえで、さらに「ジェンダー問題」を食料主権や農地改革に組み込むべきだと明確に強調しました。

「種子を守るグローバル・キャンペーン」もここで発足しました。種子は農民や先住民の成果物であり、人々の歴史、とりわけ最初の創造者であり、歴史を通じて種子の主たる守り手であり続けてきた女性の歴史を示す、共同の創造物であると考えられています。

### 【Page 11】

#### 2004 年 ブラジル・サンパウロ ビア・カンペシーナ第 2 回国際女性総会、ビア・カンペシーナ第 4 回総会

この総会の主要な目的は、世界中の家庭内と地政学的領域の両面で女性が経験している身体的、性的暴力に対して対策を講じること、そのために平等な権利を要求し、ジェンダーの視点をもった経験にもとづく知識を養うことを可能にする訓練プロセスを強化することでした。

「女性として、私たちはすべての権利の尊重を求め、家父長制とそれにもとづくあらゆる差別を拒否する。私たちは、市民として完全に参加することを再確認する。私たちは、尊厳ある生活を送る権利、性と生殖に関する権利の尊重、あらゆる形態の身体的、性的、言語的、心理的暴力を根絶するための措置の即時導入を求める (...)。私たちは、各国が私たちの経済的自立、土地、医療、教育へのアクセスと、平等な社会的地位を保証する措置を実施することを要求する」

(第 2 回国際女性総会宣言、2004 年)

ここで女性たちは、経済的自立、土地、医療、教育へのアクセスと、平等な社会的地位を

保証する措置を実施するよう各国に求めました。あらゆる状況において、人権と国際人道法の尊重と有効性を要求したのです。

**女性はたたかいを組織する、土地、食料、尊厳と生命を！**

## 【Page 12】

### 2008年 モザンビーク（アフリカ）・マプト 第3回国際女性総会、ビア・カンペシーナ第5回総会

「女性に対する暴力根絶」グローバル・キャンペーンは、第3回総会で開始されました。この行動は、家庭内暴力や抑圧を受けずに生きる権利を守るというLVCの決意を強調するものでした。

女性たちは、新自由主義の経済モデルが農村の女性にとって最も不利で不公平なものであることを認識した上で、医療や教育へのアクセスにおいて女性が受ける差別を非難しました。

「私たちにとって、食料主権や農地改革について語るということは、必然的に女性に対するあらゆる形態の暴力根絶について語ることになる。それは、新しい人間関係をつくり、自然や生物多様性、種子を守ることについて語ることであり、もう一つの世界をつくる可能性を語ることなのだ」

（イテルビナ・マシオーリ、MST、LVC ブラジル）

## 【Page 13】

「身体的、経済的、社会的、文化的、男性優位の暴力、力の差にもとづく暴力などを含む、社会の中で女性が直面しているあらゆる形態の暴力は、農村のコミュニティにも存在し、その結果、私たちの組織にも存在する。これは、不正義の基本的な原因となるだけでなく、私たちのたたかいの成功を限定的なものにしている」

（マプト宣言、ビア・カンペシーナ、2008年）

ここでのLVCの最も重要な誓約のひとつは、多様な人々の間に新しい、より良い人間関係をつくることでした。それは、彼らが実現をめざす、女性や子どもたちのニーズが優先される新しい社会をつくるために不可欠なものでした。

### 2013年 インドネシア・ジャカルタ 第4回国際女性総会、ビア・カンペシーナ第6回国際総会

「フェミニズムと食料主権のためのたたかいと希望の種をまく人」というスローガンのも

と、女性たちは農村女性としての権利と要求の認知を得るためのロードマップ作成のために集いました。

## 【Page 14】

家父長制に立ち向かうためには、男性優位の特権や神話を自覚し、女性の歴史を学びその価値を理解することを通じてリーダーたちが自らの態度や行動基準を見直し、認識を高めることが必要です。これまで女性たちが主導してきましたが、男女が平等に関与し、宣言を具体的な行動に移していくことが必要です。

最終宣言では、世界の不正義をなくすためのたたかいを強調しました。それには、貧困の連鎖を断ち切り、食料生産における女性の中心的な役割を認識した上で、人々の十分でバランスのとれた食料を守るために農民が果たすべき役割の重要性を理解することが求められます。

*「組織された農民女性たちは、未来は有望であると確信している。それは、達成された進歩や勝利が後退する可能性は、特に女性の心の中には全く存在しないからである。このことゆえに、さらにはラテンアメリカの女性たちの議論とその構築過程に触発されて、私たちは「民衆と農民のフェミニズム」の基礎を築くための政治的提案を開始する」*

(第4回国際女性総会宣言、LVC、ジャカルタ、2013年)

このようにして、総会は、ビア・カンペシーナ内の国際的なレベルにも議論を広げるという課題に挑みました。経験豊富で貢献の高い地域もあれば、やるべきことが山積している地域もありましたが、これが家父長制と資本主義とたたかうツールになるということをはっきりとわかっていました。

## 【Page 15】

### 2017年 バスク自治州・デリオ 第5回国際女性総会、ビア・カンペシーナ第7回国際総会

直近のこの総会は、世界中のLVCの女性たちに、世界レベルでの経験にもとづく行動戦略を明確にすることを呼びかけましたが、これは運動内での「農民と民衆のフェミニズム」の構築への提案を深めるためでした。

参加者にとって重要なことは、平等及びジェンダー公正をめざすたたかいのための団結と決意を強化するLVCのフェミニストとしての性格について、十分な検討をおこなうことでした。

農村部で抵抗を続け、団体活動にもしっかりと参加し、女性への暴力根絶までたたかいを

続けること、同時に戦争を拒否し、社会正義を伴う平和の実現に貢献し、母なる地球を守り、人類すべてに良好な生活水準を取り戻すためにたたかう決意を再確認しました。

「資本主義と家父長制のシステムは世界中に広がり続け、私たちの領域や心身を損なっている。さらに多くの資本を蓄積し、地球と人類の未来に損害を及ぼしている。

## 【Page 16】

自然と農業は商業化され続け、あらゆる種類の資源の無秩序な採取は、気候変動を加速させている。その結果、私たちのコミュニティ、特に女性に壊滅的な影響を与えている。

女性たちは、商品や食料の生産にますます大きな責任を負うようになってきている。しかし、女性の仕事は目に見えないものとして扱われ続けており、介護や子育てなどのケアは評価されることも支援されることもなく、集団的または社会的に担われなため、私たちにかかる負担が増え、完全な参加を制限している。

(バスク宣言、2017年)

総会では、LVCのあらゆるスペースやレベルにおける女性の政治参加を強めるために、「農民と民衆のフェミニズム」を確立する必要があると述べられています。

「私たちの組織を強化し、幅広い連携を実現するための鍵は、ビア・カンペシーナの中で農民フェミニスト運動を起こすことである。」

(バスク宣言、2017年)

加えて、男性、女性、多様な人々の社会的解放のための組織やプロセスへの貢献は、農民や民衆のアイデンティティから生まれます。

LVCが掲げるフェミニズムは、文化的な多様性ととともに、地域、国、町ごとに女性が直面する状況が大きく異なることを認識していることも指摘されています。このフェミニズムは、世界中の女性の日々の苦しみと、彼女たちの自立、社会変革、小農による農業と食料主権を守り保護するためのたたかいから生まれ築かれてきたものです。

さらに欠かせないことは、各組織や提携団体の中で多様なジェンダー・アイデンティティ（性自認）を理解し受け入れ、前向きな環境をつくる能力を高める必要性や、レズビアンの権利、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クィア、インターセックス（LGBTI）への支援の必要性を認識することです。

## 【Page 17】

このLVCの女性たちが歴史的に長きにわたって蓄積してきた知識の中に、女性たちを団結

させ組織する助けとなっている要素を確認することができます。それは、土地や種子、生態系への思いやりと、家父長制、性差別的な制度、女性の生活やコミュニティに影響を及ぼしているあらゆる形態の暴力に対するたたかいなどです。

第1回国際女性総会とLVC国際総会以降、女性たちは大きな成果をうみ、集団としての意見を提供してきました。こうした解釈、ツール、言語、感覚は、LVC自身の意識を高め、組織の力を引き上げ、今日では自らをフェミニズム運動であると宣言するにいたっています。

LVCの女性と農民たちは一体となって、ケアワーク、健康な食料の生産、人間らしい生活や権利をめざすたたかいの最前線に立ち、よくまとまり、行進し、行動し、逮捕や投獄を受けながらも、ジェンダー正義をともなう食料主権と農地改革のためにたたかっています。

## 図表2 ビア・カンペシーナ国際女性総会

2000年	第1回国際女性総会	インド・バンガロール
2004年	第2回国際女性総会	ブラジル・サンパウロ
2008年	第3回国際女性総会	モザンビーク・マプト
2013年	第4回国際女性総会	インドネシア、ジャカルタ
2017年	第5回国際女性総会	スペイン、バスク自治州・デリオ

【Page 18】

## 農民と民衆のフェミニズムは食料主権を求めるたたかいに根差している

LVCにおける女性たちの要求とは、あらゆる暴力に対するたたかいと食料主権を求めるたたかいです。だからこそ、女性たちの役割と、女性たちの土地との、そして世界中での食料生産の維持と発展との深い関係性が、運動の中で評価されているのです。

食料主権は、1996年にローマで開催されたFAO世界食料サミットの枠組みの中で公表された、ビア・カンペシーナによる提案である。農民女性にとって、食料主権の原則は、食料生産の創造的過程に常に結びついている彼女たちの在り方に不可欠な要素だ。この提案を実現する上での現在の課題は、性差別をなくすこと、そしてこの新しい世界観に女性を含め、女性を擁護し、女性が平等な条件のもとで農民であるという選択をできるように保証することである。

## 図表3. 食料主権とは

家父長制は女性と自然の両方に影響を及ぼします。女性が労働力を生み出し、自然は資源を生み出す。この2つは、ともに資本主義のニーズを満たすために不可欠な源泉です。資本主

義はアグリビジネスと多国籍企業のよこしまな論理にもとづいて、食料生産の形態を植民地化しようとしているのです。言い換えれば、先祖から受け継がれた食料知識を尊重せず、単一作物生産と農薬に置き換えることによって、どのように、何を、いつ生産するかを強要することを目論んでいるのです。

歴史的に女性たちは世界中で食料の維持を担ってきました。しかし、女性たちは三重苦をたたかっています。女性たちを家事のためだけに家に縛りつけ、孤立させるジェンダー不平等に対するたたかい、領域を守るためのたたかいに参加することで家族と過ごす時間を犠牲にしているという社会的罪悪感に対するたたかい、国家や多国籍企業からの脅迫やハラメントに対する身を呈したたたかいです。

## 【Page 19】

世界的に、女性は農村における労働力の半分を占めています。女性たちは、社会における良い生活水準にいたる重要な道筋として、地球の健康を脅かす社会的、環境的問題への解決策として、食料主権を守っているのです。

*食料主権のための私たちのたたかいと行動は、私たち女性に、これまでの歴史の中で世界の食料システム構築に女性がかかわってきたこと、農業が始まって以来、種子の収集と伝播や、生物多様性と遺伝資源の保護に女性が役割を果たしてきたことを可視化する機会となり、女性を感情的、倫理的、社会的支柱に位置付けている。*

(2013年 LVCジャカルタ宣言)

食料主権の基礎はアグロエコロジーです。健康的で持続可能な食生活を推進する上で、農薬を用いた生産を止めることは非常に重要です。しかし、他にも考慮すべき重要な点がたくさんあります。

## 【Page 20】

食料が生産される状況を深く問い、長年にわたる生産システムの一部である知識を認知し可視化することなくして、食料生産について考えることは不可能です。（「食料主権のためのアグロエコロジー」、「生物多様性のための行動」、2020年）

*「政治的的局面としての食料主権の活動は、農地改革と同じくアグロエコロジーにとって不可欠です。土地がなければ私たちは農地改革を求めてたたかわねばならず、アグロエコロジーなくして、私たちは人々のための健康的な食料の生産を思い描くことはできない」*

マルタ・グレコ、LVCアルゼンチン

これが、食料主権がフェミニストの視点をもたねばならない理由なのです。そして、これ

は資本主義的な農業モデルとの決別だけでなく、女性を抑圧する家父長制との決別をも意味するのです。（エスター・ビバス、2011年）

女性は利潤のために搾取され、女性の経済的、社会的、法的、そして政治的権利は十分に認められておらず、公共政策は平等な社会的、経済的参加を保証していません。食料主権は農民女性のアイデンティティを取り戻し、それによって女性たちはさらなる一步を踏み出して、農業の歴史において女性が果たした役割を知り、世界の食料生産過程における文化と農業の発展にとって女性がいかに重要だったかを理解するようになったのです。

「食料主権を構築するうえで現在の課題は、性差別による偏見から脱することであり、この新しい世界観が女性を含め、女性を擁護し、女性が平等な条件のもとで農民であるという選択をできるように保証することである」

リンダ・センラ、LVCスペイン

## 【Page 21】

ビア・カンペシーナは、農村で、社会で、そして社会関係において根本的变化をめざす主要な国際的運動です。そのなかで、他の社会運動、とりわけ世界女性行進やFoEインターナショナルなどのフェミニストの団体やネットワークと連携してきました。これらフェミニストの団体やネットワークは、農村で、組織の中で、そして社会全般において女性の権利擁護と同時に、農業の新自由主義モデルに反対するたたかいを展開しています。

女性は、ビア・カンペシーナの食料主権の定義において決定的に重要であり、農民家庭の消費に向けられた健康的な食料生産が基盤となるよう、役割を果たしてきました。これは家庭、コミュニティ、農民組織内部での、骨の折れる日々の任務です。農民女性の声は、危険な農薬の使用中止に貢献し、小農による農業のアグロエコロジー的な転換を先導しました。

## 【Page 22】

私たちが求めるジェンダー視点をもつ食料主権とは？

土地へのアクセス	一部の国では、女性の土地へのアクセスを法律で禁止している。法律上土地へのアクセスを認めている国でも、伝統や慣行によって女性は土地へのアクセスを妨げられている。加えて、女性は融資、サービス、資金を得る際により多くの困難に直面する。
新自由主義政策の影響	資源とサービスの民営化は、農村部での労働の崩壊を助長した。これは、工場や他産業で働くために農民が都市部に流出することを意味する。女性にとっては、家族や土地との離別と解体をもたらした。コミュニティに残った女性の家族への責任と負担は増大している。家事労働が抑圧の連鎖の再生産になっている場合もある。

<p>アグリビジネスと新自由主義的な農業食料モデルへの反対</p>	<p>食料生産チェーンは、農地や環境を軽視する政府や国際機関から支援を受け一握りの農業関連多国籍企業によって独占されている。現在の問題は食料不足ではなく、食料にアクセスできないこと。アグロエコロジーは食料主権にとって不可欠である。大規模な単一作物農場における農薬散布は、私たちの健康、環境、そして労働に直接影響を及ぼしている。在来種や伝統的固定種の種子は、遺伝子組み換えによって汚染され、私たちの食料主権を脅かしている。</p>
<p>目に見えなくされている生産労働と再生産労働</p>	<p>女性は畑で食料を生産し、農地を耕す。さらに、コミュニティにおける経済とケア労働の主たる提供者でもある。なぜなら女性は、家族のケアと育児、そして当然のように女性に割り当てられている家事労働という、二重の評価されない労働を担っているからである。</p>
<p>在来種と伝統的固定種の種子の回復</p>	<p>工業的農業が確立して以来、在来種と伝統的固定種の種子とそれにまつわる知識は危機に瀕している。種子は先祖からの遺産であり、商品として扱われるべきではない。種子を守り、交換や耕作によって生かし続ける農民による保護が必要である。</p>

図表 4. ジェンダーの視点を持つ食料主権を求めて

【Page 23】

資本主義と家父長制システムによって強いられる暴力と不平等にもかかわらず、LVCの女性たちは、民衆によるフェミニスト的農地改革を求めてたたかい続けています。種まきの時のように、交代しながら、新しい視点を追加し、新たな人類のために古い種子を再発見し、生産し、作り直し、発芽と再発芽を繰り返し、生を受け、夢を見続け、束縛を解き、あまりにも多くの農薬や、偏見、依存からの癒しを得ることが不可欠です。

「ビア・カンペシーナにとって食料主権とは、そう、私たちが求めたたかう食料システムのビジョンである。しかし最も大切なことは、食料主権は絶え間ない進化におけるたたかいの旗印なのだ。」

マリア・カニル、LVCグアテマラ

Page 24

ビア・カンペシーナにおける農民と民衆のフェミニズム

グローバル資本主義の多重危機で、農民女性は、土地、領域、自然資源、仕事、身体と命を失い続け、利潤のためにますます搾取されています。

しかし、女性たちはこの経済的そして社会的搾取に対して無抵抗ではありませんでした。これまでの歴史の中で、女性たちはたたかい、抵抗するために結集してきました。女性たちの行動は、多様です。対決を辞さず闘志にあふれ、華やぎ、再び力を与え、解放的

で変革をもたらす、さまざまな形でおこなわれています。

ビア・カンペシーナの農民女性のたたかいが、他のフェミニスト運動と異なる最も重要な点は、ビア・カンペシーナ内のラテンアメリカの女性たちの提案による、いわゆる「農民と民衆のフェミニズム」を集団的に構築してきたことです。

運動の初期、農民女性は自分たちをフェミニストとは考えずに、女性のたたかいを支持していました。LVC内の女性委員会として始動し、その後ビア・カンペシーナ女性連絡会として確立しました。

農民女性は自分たちのフェミニズムへのアプローチについて、分析しました。農民女性とその現実、都市や、異なる社会階級の別の要求を持つ女性たちから生まれたさまざまなフェミニストの潮流のたたかいとはちがっており、その課題も、農村の女性や女性労働者が直面しているものとはかけ離れていたからです。

フェミニズムは、19世紀末に主にヨーロッパの複数の国々で起こったたたかいの中で始まった社会的、政治的運動である。フェミニズムは、女性は自由を獲得するために、男性と家父長制による抑圧、支配、搾取を認識すべきだと提起している。

#### 図表 5.フェミニズムとは

#### 【Page 25】

LVC内でジェンダーにとりくんだことで、私たちは議論を前進させ、女性のためのスペースを開き、その後フェミニズムについて議論できるようになりました。このようにして、LVCは、フェミニズムのためのたたかいは女性にとっての課題にとどまらず、運動全体、女性、男性、革新的な多様な人々すべての課題だと理解したのです。

*「フェミニズムは男性と女性のあいだの論争ではない。敵は他にいる。不平等な関係を再生産する資本主義と家父長制だ」*

エリザベス・ムポフ、LVC ジンバブエ

ビア・カンペシーナでは、フェミニズムは構造変革の広範な政治戦略です。暴力と不平等は構造的な問題だからです。ですから、資本主義によって女性の解放がいかんにか利用されてきたかを深く探求することが提起されています。今日では、多くの右翼の保守的な政府でさえ、支持票を獲得するためにフェミニストのたたかいを支持しているのです。反対に、一部のより革新的な政府がフェミニストの歴史的な要求を非難しています。

#### 【Page 26】

*「フェミニズムは、女性たちが人間として扱われるためになくなくてはならないツールで*

あり続けている。女性たちが社会において尊厳ある地位を獲得し、女性を苦しめる暴力を根絶し、土地の権利を主張し回復を要求し、多国籍企業や大企業の手から土地を守ることを可能にするプロセスなのだ」

ユン・グンスン、LVCアジア

LVCは、女性の解放は個人的なプロセスではなく集団的なプロセスだと考えます。それは民衆の自由を意味し、ここに、「農民と民衆のフェミニズム」、階級フェミニズム、農村での暮らしと労働を反映するアイデンティティを持つフェミニズムのアプローチの基礎があるのです。

## 【Page 27】

「農民と民衆のフェミニズム」はイデオロギー的、政治的な構造であり、都会の話し上手な他の形態のフェミニズムとは一線を画している。都市ではなく農村の現実の一部であるから「農民」であり、「民衆階級」（農民、労働者、移民、農業賃金労働者、先住民、アフリカ系の人々など）のフェミニズムであるから「民衆」なのだ。

## 図表 6. 農民と民衆のフェミニズムとは

運動における「農民と民衆のフェミニズム」は、資本、ジェンダー、人種を女性、主に農民、先住民、黒人の女性を搾取し支配する三本柱と位置づけています。

女性は日々の暮らしの中で、階級的搾取、ジェンダーの抑圧、人種という三重の支配を経験しています。先住民や黒人女性にとっては、植民地主義が今なお世界的に広く蔓延しているもとの、搾取はさらに著しいものでしょう。女性たちが自らの階級的、ジェンダー的な地位を自覚する中、農村女性たちは、自分たちの歴史的貢献は資本主義と対峙すること、そして、女性を行動様式の強要と女性の身体や性質、先祖伝来の知識の支配を通して服従させる家父長制モデルを根本的に打ち砕くことであったことを認識しています。

「農民と民衆のフェミニズム」は、女性解放をめざすたたかいは、私有化をやめさせるたたかい、土地や領域の権利を求めるたたかい、農地改革をめざすたたかいや、多国籍企業に反対し、遺伝子組み換え作物、農薬に反対し、採鉱を止め、工業的な搾取漁業を止めさせるたたかいなどと協力してすすめるべきではないと考えます。それは、小農による農業、アグロエコロジーによる食料主権、土地、領域、正義、農村の女性、男性、多様な人々の平等と尊厳を守るためのたたかいです。

## 【Page 28】

「私たちは何か新しいものを考案しているのではなく、歴史的、政治的、社会的、そして文化的行動という私たちがたどってきた道筋を再確認し、深化させようとしているのだ。それは私たちのアイデンティティと、暮らしと労働の現実から出発して新たな社会の建

設をめざすものであり、農村女性、先住民、アフリカ系の人々、漁民女性、農村労働者としてのアイデンティティを救済し評価するものである。このアイデンティティは、家父長制と資本主義によって歴史的、社会的に否定され軽んじられてきたのだ」

イリディアアーネ・シーベルト、LVCブラジル

「農民と民衆のフェミニズム」で、LVCは農村を再発見し、農民の生活を支配する家父長制資本主義システムの脅威にもとづく社会とはちがうもうひとつの社会モデルを描きたいと考えています。

そこでの課題は、進路や階級的アイデンティティを失わないようにすることです。資本主義を倒し、帝国主義を終らせるのは疑いもなく長期にわたるたたかいであり、農村と都市の結束を必要とし、女性にこの政治的、イデオロギー的提案において前進し続けようという意欲をかきたてるものです。

フェミニズムをもって、われわれは社会主義を確立する！

フランシスカ・ロドリゲス、LVCチリ

【Page 29】

## 農民と民衆のフェミニズム

- 女性のたたかいは農地で起こっている。
- 独自のアイデンティティ（農民）を持ち、集団（民衆）としての構造から生まれる。
- 伝統的コミュニティで暮らす農村女性、先住民女性、漁村女性、黒人とメスティーソ女性は、自らの階級的地位、ジェンダー、人種に対する家父長制の抑圧を自覚している。
- 小農による農業に価値をおき、土地の搾取、土地と水の略奪、採掘主義のプロセスに疑問を呈する、人間と自然の新たな関係を構築する。自然を生命体も人間も存在しない空間ととらえる考え方を問い直す。
- 女性が担っている、価値を認められていない生産と再生産の二重の労働の認知を求めるたたかいである。
- フェミニズムとは女性だけのたたかいではない。私たちは、尊厳と正義のためのより広いたたかいの中で、女性、男性、多様な人々が対等の立場でともに歩むことを望む。

図表 7. 農民と民衆のフェミニズムの特徴

【Page 30】

私たちは、農民と民衆のフェミニズムをどう体験しているか？

世界中のさまざまな団体やLVCに組織されている農民が、それぞれの領域で「農民と民衆のフェミニズム」を構築しているプロセス、困難、運動にとっての主な課題について語っています。

「韓国社会には歴史的遺物としての家父長制が残っており、この制度のいくつかの要素は現在も影響力を持っている。農民女性の運動には、韓国におけるこれまでのフェミニズム運動とは異なる特徴がいくつかある。農民女性のフェミニズムはジェンダー問題のみならず、階級問題の解決策でもある。私たちは、ジェンダー平等なスペースをつくらうとしているのだ」

パク・ミチュン LVC韓国

「私たち女性は家畜の世話をし、家族や仲間の農業の手助けをしているのに、土地や共有財を入手できない。私たちはたたかっている。自分たちの生活にかかわることは自分たちで決めたいのだ。女性に力をつけるためにがんばっている」

アヌカ・ダ・シルバ、LVCスリランカ

「私たちの国では、社会的な違いはそれほど厳しくはない。農村の女性も一定の地位を有し、農場を所有することも、働くこともできる。しかし、性差別は残っている」

キャサリン・テリエ、LVCベルギー

「私たちの生物学的な違いをもって、抑圧制度を正当化することはできない。新しいジェンダー関係をつくる必要性について語ることは、アグロエコロジーの実践と構築について語ることに同じくらい重要だ。私たちはたたかいの中で、資本がもたらす抑圧制度全体に立ち向かわなければならない」

イテルビナ・マシオーリ、LVCブラジル

## 【Page 31】

「農民女性が経験している構造的暴力は、都市に住む女性のものとは全く違う。それゆえ、私たちは女性として、農業が男性に独占され資本主義によって強化されたことを発見したものとして、土地を所有し利用できるようにするためのたたかいを強めなければならない。私たち女性は共有財、土地、水、種子をめぐる歴史的なたたかいを取り戻し、強化し、私たち自身が力をつけなければならない」

マーリーン・サンチェス、LVCニカラグア

「30年前、農民女性は男性と同じ権利も同じ可能性も持っていなかった。今日、その状況は変わり、私たちの国には指導的地位についている女性たちがいる」

メリダ・レイエス、LVCキューバ

「フィリピンの女性農民は土地固有の種子を保存している。私たちは先住民女性から保存の仕方を学んでいるのだ」

リッチー・タラロール、LVC フィリピン

「私たちは私たちのすべての権利を含み、ゲイ、レズビアン、バイセクシュアル、クィアなどの人々をも含むあらゆる属性が交差する (*intersectional*) 運動をつくりたい」

オニカ・アブラハス、LVC アメリカ

## 2. 「農民の権利宣言」における女性農民

国連食糧農業機関（FAO）によると、開発途上国のすべての農業労働力のうち女性は50%を占めています。しかし、農村の女性は土地、技術、市場、インフラ、サーピスの利用について、男性よりはるかに厳しい制約を受けています。

このため、ジェンダー平等は農村における労働の中心政策の一つであり、これに関して、2018年に国連が採択した「農民の権利宣言」は、特別なツールになります。

具体的に言うと、宣言は農村女性の役割を強化する2つの条項を設けています。

### 【Page 32】

そのうちのひとつ、第4条は、各国政府が以下の目的のために適切と考える措置をとる責任を明記しています。「男女の平等に基づき、農民女性と農村で働く女性が確実に、すべての人権と基本的自由を完全かつ平等に享受するとともに、農村の経済、社会、政治、文化的発展を自由に追求し、それに参加し、利益を得ることができるようにするため、これらの女性に対するあらゆる形態の差別をなくし、エンパワーメントを促進する」（国連、2018年）

「宣言に女性の人権に特化した2つの条項が盛り込まれたことは、各組織の中で、また農村環境の中で活動している何千人もの私たち女性にとって、非常に大きな前進だった。なぜなら、家父長制の文化とイデオロギーから、女性の身体、仕事、生活や自然資産の占有という特性ができあがるという、排他的で差別的な筋書きを認識すると同時に規制する方法となるからである」（イリディニアニ・シェイベル、ヨランダ・アレアス、ビア・カンペシーナ、2018）

宣言は、アジアからの提案で始まりました。宣言が採択されたことは今日、人類にとっての勝利です。なぜなら、初めて、公式文書が女性に対する暴力反対のたたかいに言及し、性と生殖の権利を認めたからです。

宣言の実施を要求し、世界中で権利を守るための政治的ツールにしていくには、多くの課題があります。

## 【Page 33】

ビア・カンペシーナの誕生は、あらゆるところで侵害されている権利を要求する必要に応えるものです。実際、この運動が掲げている主張はすべて、基本的に共通の権利です。ですから、家族経営や集団経営の農業、食料主権、農地改革を支援する公共政策への要求は、農村の人々のたたかひの産物です。世界中の農村のさまざまな領域に暮らす女性、男性、多様な人々の努力が培ってきた概念であり原則なのです。

農村における資本主義の進展は、各領域における新自由主義の政策の実行によっていっそう暴力的になっており、人々の命を脅かしています。実際、人々の権利を守るためにたたかひていることで、多くの人々が殺され、投獄され、攻撃されています。多くの女性が私たちに認められていない権利、とりわけ土地所有を要求したために犯罪者にされ、殺されているのです。

農村女性はこれまでずっとこうしたプロセスのすべてにかかわっていますが、労働の場と同様に意思決定の場に、その姿は見えなくさせられています。ケアや、生物学的再生産だけでなく社会的な再生産、すなわち、さまざまな形の弾圧、抑圧、差別が絡み合っている支配的なシステムに対応する社会の再生産のために、除外されているのです。資本主義、家父長制、植民地主義、人種差別主義がおしつけられているからです。

主権と土地という領域（land-territories）の自治を求めるたたかひ、そして体という領域（body-territories）（集合体、女性の体、女性が命と文化を生み、再生する領域）の自主性をとり戻すプロセスにおいて、農村女性の参加は常に極めて重要なことでした。

*「自然や家族といった共同のものを世話する経験が、私たちに共同の権利を要求する力を与えている。農民女性である私たちは、すべての農民のすべての権利を要求するのだということを知ってきたのだ」*

ペルラ・アルバレス・ブリテス、LVCパラグアイ

## 【Page 34】

ビア・カンペシーナは、農村の人々との対話を通じて、「農民の権利宣言」というたたかひのツールを発展させました。宣言は、各国政府が田畑、山、草原、河川流域に住み生産をおこなっている人々の権利を擁護するこの法的ツールを受け入れるようにするために、国際組織に働きかけることを提案しています。LVCの女性たちは、この宣言が国連総会で採択されるまでの17年以上に及ぶ長いプロセスに、最初からかかわってきました。

「農民の権利宣言」は、私たちの権利を守る国際的な法的ツールをつくるための基礎となる文書です。そのプロセスは、多くの交渉、譲歩、抵抗、考え方の厳しい対立の連続で、冷ややかな政府の中の反乱者や国連ビルの廊下で連携できる人を探し、その場その場に適合していく努力を重ねました。同時に、ビア・カンペシーナの運動の多様性と、調整がとれ、よ

く組織された集団の作業から生まれる力強さを共有する喜びを実感する時でもありました。

### 【Page 35】

考え方と実践をめぐる交渉は、長く白熱した議論になりました。まず、農民のアイデンティティが問題になりました。生産の形態、存在の形態、そして私たちが人や自然とのかかわり方と結びついているアイデンティティをとりあげた法律文書は、ほとんどありません。同様に、女性たちは農村女性の特殊性を目に見えるものにするためにたたかってきました。女性こそが、それぞれの領域での資源採掘から最も被害を受けるからです。女性は概して、自らの領域であり命でもある環境を守る主体であり、主人公であるとみなされません。言い換えれば、女性は運動が提唱していることの先駆けなのです。

女性が、この道のりにおいて集団としてつくりあげ、譲歩することなく守ってきた概念とツールには、以下のものが含まれています。集団的権利、種子の権利、生物多様性の保護、食料主権、土地と領域の権利、先祖伝来の知識や学びの権利、自身の権利の促進と擁護のために団結する権利、女性や若者が自分にとって重要な問題に参加すること、です。

### 【Page 36】

このプロセスにおいて、LVCはエボ・モラレス大統領が率いるボリビア政府の全面的な支援を得ました。モラレス大統領は、政府代表を通じて人権理事会の作業グループに提案し調整をおこないました。

農民女性や農民男性をはじめとする農村地域に住む人々は、集団的アイデンティティの権利を要求しました。それは、農民は均一の集団ではなく、土地や領域との関係、食料生産、環境保全、アグロエコロジーや持続型農業などの適切な技術の開発など共通の要素を持っている集団であるということです。そこにおいて、女性は中心的な役割を担っています。農民は天然資源を管理していませんが、人々に食料を提供し、環境を守っているのです。

### 【Page 37】

集団としての農民の権利は、より公平な世界をつくることに貢献します。国際的な法律文書としてこの権利を尊重し遵守することは、農村の生活水準を高め、地域のコミュニティや国の食料を改善し、地球を冷やし環境を守ることに役立ちます。農民には提案があります。土地管理、すなわち領域、森林、水、漁場を管理する自主的な指針など、各国政府のためのツールをつくっています。これは、農民の、貢献したいという意味、参加の仕組みを追求する意思を示すものです。

「パンデミックに直面する今、私たちは健康危機が終わるのを待って、ただ家に留まっているのではない。先祖伝来の知識への権利を行使しているのだ。再び薬草を使い、都

市の女性との連帯でつくった無料食堂にとりくんでいる。私たちは私たちの種をまき、なくなれば交換し合う。コミュニティの中で互いの世話をしている。私たちには経験がある。権利という収穫を得るために、たたかいと抵抗の種をまくのだ！」

ペルラ・アルバレス・ブリテス、LVCパラグアイ

「農民の権利宣言」は、最終的に「農民と農村で働く人々の権利宣言」という名称になり、2018年12月18日に採択されました。以後宣言は各国が批准するために開放され、新たなステージが始まりました。これは長く困難な道のりの末にたどり着いた重要な第一歩です。馴染みの現実とは全く異なる環境の中で原則や概念、たたかい、すなわち生活について議論するために、農場や果樹園を離れ、海山を超えて長旅をしてやりとげたことなのです。

今日、この新たなステージにおいて、LVCの私たちは「農民の権利宣言」はツールであると明言します。前進し、組織してたたかいを広げ、否定されてきた権利を確保し、抑圧された領域をとり戻し、食料を生産し、地域ごと、季節ごとに、また文化交流の価値を否定することなくそれぞれの文化に応じた食物を世界の人々に提供するためのツールなのです。

## 【Page 38】

### 農民の権利はこんなことができるツール

- ・ 私たちの要求と提案を目に見えるものにする効果的なコミュニケーション
- ・ 農村地域における権利主体として、また私たちの体、生活、領域を攻撃する暴力とたたかう主体として女性を認知し位置づける
- ・ 仲間や組織を犯罪者として扱うことに反対するたたかいを認め、仲間や組織の死や投獄を告発する
- ・ 若者の強制移住を防止し、教育、インターネット、雇用、住居、医療、スポーツやレジャーへのアクセスがある農村地域での生活や未来をつくること、麻薬や麻薬取引によるあらゆる形態の抑圧を非難する
- ・ 世界中の投獄されている仲間や政治囚の釈放
- ・ 農村地域と都市の利益になる民衆の農地改革の実行
- ・ 全ての農村労働者に労働の権利と社会保障を保証する
- ・ 団結し連携して公共政策にはたらきかける
- ・ 消費者の食料を脱植民地化する権利の確保、すなわち、自分たちが消費する食物の生産過程とどのように届けられているかを知ることができるようにする
- ・ 私たち農民は権利を持った人間であると宣言するためのコミュニケーション・ツール

図表 8. 農民の権利はたたかいのツール

## 【Page 39】

権利を持つ農民たち!

1. 加盟国は、男女の平等にもとづき、農民女性と農村で働く女性が、あらゆる人権と基本的自由を十分かつ平等に享受し、農村の経済、社会、政治、文化的発展を自由に追求でき、それへの参加が可能で、そこから利益を得られることを保障すべく、これらの女性に対するあらゆる形態の差別を撤廃し、エンパワーメントの促進に資するすべての適切な措置をとる。
2. 加盟国は、農民女性と農村で働く女性が差別を受けることなく、本宣言、ならびに、その他の国際人権条約に定められたすべての人権ならびに基本的自由を享受できるよう保障する。それには、以下の権利が含まれる。
  - a. あらゆるレベルの開発計画の策定と実施において、平等に、かつ実効性を伴った参加ができる権利
  - e. 雇用と自営活動を通じて経済機会への平等なアクセスを得るため、自助組織、アソシエーションおよび協同組合を組織する権利
  - f. あらゆるコミュニティ活動に参加する権利

## 【Page 40】

- b. 十分な保健医療施設、家族計画についての情報、カウンセリング、サービスを含む、到達可能な最高水準の身体的、精神的健康に平等にアクセスする権利
- c. 社会保障制度から直接利益を得る権利
- d. 機能的識字力に関する研修、教育を含む、公式、非公式を問わず、あらゆる種類の研修、教育を受ける権利、技術的な面での習熟度を引き上げるためのコミュニティ内に存在する、また農業普及に関するすべてのサービスから利益を得る権利
- g. 金融サービス、農業融資やローン、販売施設、適切な技術に平等にアクセスする権利

## 【Page 41】

- h. 土地と自然資源への平等なアクセス、利用、管理をおこなう権利、土地と農地改革、土地再定住計画において、平等または優先的に扱われる権利
- i. まともな人間らしい雇用、そして、平等な報酬と社会保障給付に対する権利、収入創出のための活動に参加する権利

j. あらゆる形態の暴力を受けない権利

図表 9. 「農民の権利宣言」 - 第 4 条

【Page 42】

### 3. 女性に対する暴力根絶をめざすグローバル・キャンペーン

女性に対する暴力は、すべての社会階級、地域、性的指向およびあらゆる世代にかかわるグローバルで横断的な問題です。ビア・カンペシーナは、女性に対する暴力を家父長制、性差別、資本主義システムがもたらした結果ととらえています。したがって、この考えには、農村の女性に強い影響を与えるアグリビジネスが生み出す暴力も含まれており、力関係が問題の根本的な部分であると認識しています。

2008年10月にマプト（モザンビーク）で開催された第5回国際総会で、ビア・カンペシーナは「沈黙を破る」ことを決定し、農村の女性が経験するあらゆる形態の暴力に反対するグローバル・キャンペーンを立ち上げ、すべての男性、女性、若者が、現代社会の構築に必要な新しくより良い人間関係を確立するために、責任をもってとりくむと宣言しました。

この枠組みにもとづいて、各国のビア・カンペシーナ・インターナショナルと連携する女性団体やさまざまな組織のたたかい、戦略や行動が強化されました。

【Page 43】

このようにして、この問題は、地方、国内、国際的なたたかいと結集計画の一部となり、何千人もの農村女性の権利と生活を剥奪してきたこの現象について、女性とその家族とともに考える集団的なとりくみになりました。

キャンペーン開始から5年後の2013年、ビア・カンペシーナの第4回国際女性総会で、約300人の農村女性がインドネシアのジャカルタに集いました。会議は、各地域で女性に対する暴力を根絶するキャンペーンをどう続けていくかについて話し合いました。すべての大陸の女性たちが、それぞれの国の女性の状況を報告しました。そして、置かれている現実や背景はちがっていても、女性たちのたたかいは共通でした。農民女性の権利を求めるたたかいであり、食料主権の母としての女性を守るたたかいです。

【Page 44】

#### キャンペーンの目的と特徴

このキャンペーンは、農村の女性に対するあらゆる形態の暴力をなくすために始められたものですが、労働者階級の女性に対する暴力を可視化することも目的としています。伝統的に、このたたかいを求める声の多くは、都市に住む女性たちから発せられています。そこでビア・カンペシーナは、農民女性の視点を強調したいと考えたのです。

貧しい女性、働く女性、多様な女性、特に農村の女性は、さまざまな権利や公共サービスへのアクセスが限られ、家事に追われ、経済的、社会的な解放につながる夢を叶える機会も少ないのです。そうした状況のもとでは、女性たちは自分たちが受ける暴力に耐えながら生きていくしかありません。

このキャンペーンは、とりわけ各地の人々、コミュニティ、組織の中に、そして家庭や家族の中に社会的、文化的、政治的変化をもたらし、男女間の不平等な関係を克服するための新しい文化を構築することをめざします。

**女性は暴力、資本、性差別、新自由主義ファシズムに反対する!**

## 【Page 45】

世界中で虐待や暴力に苦しむ女性が沈黙し、その姿が見えなくなっていることの責任は、データと情報の不在にあります。

この社会的メカニズムは、歴史的にも現在の状況においても、象徴的で家父長的で資本主義的な世界を支配する多くの文化的表現の中にはっきりと見てとれます。土地を求めるたたかい、社会運動の非犯罪化を求めるたたかい、多国籍企業に対するたたかいとともに、女性への暴力に対しても「もうたくさんだ!」と叫ぶことが必要です。この暴力は、女性の身体、主観性、そして社会的、文化的、象徴的な財を侵害と形で行われるのです。

## このキャンペーンの特徴と力

- ーこのキャンペーンは自主性を維持し、運動の戦略的計画に伴う個別の新しい問題にとりくむ。
- ービア・カンペシーナ内外の大勢の人々を動員できる巨大なツールである。
- ー各キャンペーンは、共通の目標を持つ組織との広範で強力なパートナーシップをめざす。
- ーこのキャンペーンは、フォーラム、セミナー、ワークショップなどを通じて、問題点について考え、議論する。

図表 10. 「女性に対する暴力根絶」キャンペーンの特徴と力

## 【Page 46】

### ビア・カンペシーナの「女性に対する暴力根絶」国際キャンペーンの実施

このキャンペーンの主な焦点は、農村の女性に対するあらゆる形態の暴力とたたかうことですが、すべての労働者階級の女性に対する暴力を可視化することも目的としています。キャンペーンを前進させるためには、以下のことが必要です。

- すべての国の農村地域において、女性に対するあらゆる形態の暴力を非難し、解決にとりくむ。
- 世界中の労働者階級の女性に対する暴力を可視化する。
- 社会に根つき当たり前になっている女性への暴力をわかり易く説明し、暴力が資本主義、新自由主義、家父長制の社会では構造的なものであることを示す。
- 社会的規制のメカニズムを確立し、社会運動や一般の社会でも暴力を公にし、あらゆるレベルで議論を重ね、いかなる暴力も受け入れない文化を作る。
- 女性の解放のために女性の組織とたたかいを強化し、私たちが望む公正で平等な社会に向かって進む。
- このキャンペーンをたたかいの旗印にしようとするグループ、運動、個人間の連携を強化する。
- 女性に対するあらゆる形態の差別や暴力に対処する国際合意、条約、法律を遵守するよう、各国政府に圧力をかける。
- すべての国で、暴力の被害者である女性を支援するための法的手段や法律、及び物理的、人的、専門的、財政的な公的体制をつくり、実効性あるものにするとりくみを前進させることをめざし、たたかいや動員を進める。

## 【Page 47】

- 人権侵害の事例を報告・監視し、さまざまな形態の暴力によって攻撃されたり殺害されたりした女性の統計を示し、すべての国で具体的な事例を報告する。
- 各国・地域において、草の根、女性、農村、都市の運動や組織と共同で倫理法廷を設立し、最大限多様な形態の女性に対する暴力の具体的な状況や事例を可視化する。
- このキャンペーンを段階的かつ有機的に実施するために、ビア・カンペシーナの地方、国、

地域の調整を確立する。

- すべての国の女性の自立と解放の観点から、この問題に関する訓練プロセスを実施し、社会、階級、ジェンダー、文化、民族、人種などあらゆる理由での不平等に終止符を打つ。
- 私たちの組織の中での平等をめざしてたたかい、女性が意思決定に参加し、政治の場にその姿が見えるようにし、女性のための特別なスペースをつくる。

- 3月8日 国際女性デー

- 11月25日、女性に対する暴力撤廃の国際デー

図表 11. 「女性に対する暴力根絶」キャンペーンを可視化するための、LVC の動員・行動デー

私たちが望む社会：女性に対する暴力がない社会！

【Page 48】

## 各領域における「女性に対する暴力根絶」キャンペーンのアクションと感想、女性たちの声

ソニア・ビダル、LVC スペイン

「女性に対する暴力根絶」キャンペーンによって、私たちはグローバルかつ農民の観点から各領域で活動することができます。

「ガリシア州の農民女性にとって、この問題やその他の問題で、私たちがガリシア農民連合女性事務局として参加している『世界女性行進』と連携することは極めて重要である。」

農民女性のたたかいと要求にとって最も重要な日は3月8日と11月25日です。11月25日の前後、ガリシア州の農村地域のいたるところで情報周知と告発のための行動が組み込まれます。これらの行動はいつも農村と農民女性の視点から展開されます。私たちがとりくみ、告発しているのは次のような問題です。

【Page 49】

1. フェミサイドという言葉の認知。フェミサイドとは女性が女性であるということだけで殺害されること。多くの国で起きている暴力的な死の大半の原因となっている。

2. **地理的分散。** コミュニティとのネットワークを持たない女性が増えており、時として彼女たちの唯一の社会的なつながりが加害者や家族であるということ。
3. **人口の高齢化。** 人口の大多数が 65 歳以上である地域や村がある（そのうち約 66%が女性）。
4. **インフラの欠如と公的サービスの不足。** すでに社会的保護のレベルが低い場合、「いわゆる危機」と呼ばれる状況により、農村部の公的資源はますます乏しくなる。たとえば暴力事例を発見するために必須である健康医療センターが不足している。
5. **プライバシーの欠如ー狭い空間。** 虐待や暴力事例について報告と介入の責任を持つ社会的機関が加害者の側と近い関係にあることが多く、女性が自らの状況を訴えることを困難にしている（制度的暴力）。
6. **性別役割分業。** 再生産労働は主に女性が担っており、共同責任とされていないため、多くの農民女性は夜明けから日没まで働かなければならない。

## 【Page 50】

### キム・ジョンヨル、LVC 韓国

*「ビア・カンペシーナ・アジア地域では、韓国の農業活動に女性が占める割合は 52%で、女性は男性よりも農業生産に貢献している。しかし、農民男性の地位は農民女性よりもはるかに高い。」*

これは、農民としての登記や農業政策は個人ではなく家族単位を基礎としているためです。家族単位で組織されているため、夫婦農業であっても、男性がすべてを代表します。こうしたことは、韓国社会の農村地域に長く受け継がれてきた慣習であり制度です。

キャンペーンの一環としてのアクションにとりくむため、私たちは、KWPA（韓国女性農民会）と KPL（韓国農民会総連盟、KWPA と連携する男性農民の組織）に支援してくれるよう働きかけています。

私たちは、このキャンペーンを、ソーシャル・ネットワークを通じて組織内の会合や訓練の課程、社会の中でメンバー全員と共有します。私たちの組織の中でこのキャンペーンを活用することで、女性差別に社会的な注目を集め、女性の多くが直面している暴力を可視化することができました。キャンペーンの後、LVC の女性メンバーとしての一体感や連帯を感じましたし、家父長制と資本主義に立ち向かう LVC の活動を誇りに思いました。

## 【Page 51】

よってこのキャンペーンは、以下のことを軸に開始された。

1. **暴力：**最も弱い立場におかれた人々、すなわち女性だけでなく、LGBT の運動、子どもや障がいをもつ人々などに対する暴力ともたたかう。

2. 自分自身、労働と健康—身体、心、人と人との関係：性別役割分業を見直し、隔離生活の中で確立できるセルフケアと集団的ケアのプロセスについて考える必要性を打ち出す。

3. 民衆の農業改革における積極的な抵抗：生産、協業や自治、暴力への対抗を基礎にしたアグロエコロジーの構築について考える。健全でない関係性からは健康的な食料は生産されない。生産計画、連帯アクションの構築、領域での抵抗への参加についての議論を導入し、そうした参加の可視化へと導く。

キャンペーンでの私たちの行動

- ・草の根で、すべての野营地（camps）や居住地（settlements）で、活動家にとどまらない広範で大規模なキャンペーンにする。
- ・草の根から全国女性の集い（National Women's Gathering）をつくりあげた有機的な力で、女性行進の炎を燃やし続ける。「行進は終わっていない、行進は私たちの中にある」との精神で、毎月8日に、暴力に立ち向かうアクションを起こす。
- ・カード、動画、オーディオ、証言、短い物語、リーフ、ラジオのスポット、手紙、タグ、携帯電話のテキストメッセージなど、さまざまな方法で届けることができ、くり返し使える資料をつくる。
- ・コンテンツ：ケア、食事、お茶、家庭療法などのレシピ、健康ガイドライン、家庭内暴力とそれに立ち向かうべき人についての考察、暴力を通報し女性と子どもを守るための窓口（公的機関）や戦略（地域ごとの集合的なもの）、ケアとセルフケア、詩についてのアドバイス、民衆の農地改革とコロナ時代の女性についてのアドバイスなど、国ごとの個別の内容を超えたもの。
- ・「MSTのお知らせ（MST Informs）」を通じて毎週資料を公開する。

訳注：MST：Movimento dos Trabalhadores Sem Terra ブラジルの土地なし農民運動

## 【Page 52】

ルシネア・ミランダ・デ・フレイタス、LVC ブラジル

ブラジルではジルマ・ルセフ前大統領の弾劾以降、女性に対する暴力が増加しました。しかし、新型コロナウイルスパンデミックのもと隔離生活が必要になる中、180番緊急電話相談に寄せられた件数でみると、家庭内暴力の訴えは40%増えました。私たちの居住地や野营地でも状況は同じです。

対話の中で示され、調査でも確認されたもう一つの要素は、家事やケア労働の増加です。これは議論や訓練、組織の政治的な活動への女性の参加に影響を及ぼしました。

「MST内での私たちの評価は、議論の幅を広げ、たたかひのアクションを支援するた

めの資材をつくることに重点を置く必要があるというものです。ここから、家庭内暴力を含む暴力とのたたかいに焦点を当てつつ、農村女性の現実もカバーするような広い視野を持った、恒常的なキャンペーンをおこなうというアイデアに至りました。」

## 【Page 53】

私たちは、3月8日の国際女性デー、11月25日の女性に対する暴力撤廃の国際デーなど、行動日のカレンダーを定めました。これらの抗議デーに農民や先住民の女性たちは、人権侵害、国家が土地や融資に対する私たちの権利を保証する責任を放棄していること、乱暴な立ち退きによる暴力を非難しました。

私たちはさまざまな困難に直面しました。女性にとっての地位や、経済的、生産的資源へのアクセスという点で、平等な参加への条件を組織レベルでつくること、女性の組織をより深く、より透明な形で強化し続けることです。私たちの権利は、私たちの第一の領域である「私たちの体」をケアし守ること、すなわち性と生殖に関する権利です。男性リーダーたちは、男性性との自分たち自身のかかわり方を促進しなければなりません。男性のリーダーシップは女性リーダーの人生に重大な影響を与えるからです。

## 【Page 54】

### リナ・アンドルー、 LVC タンザニア

「女性に対する暴力根絶」キャンペーンは、問題意識を高め、アドボカシーや政治的な影響を与えるうえでとても役立つツールです。アフリカ大陸の国々はそれぞれ違った政治情勢のもとにありますが、さまざまな問題や観点についての意識を高めるうえでこのキャンペーンが強力なツールであることには変わりありません。法律や規制によって、ある国ではキャンペーンが主導されることもあれば、制限される国もあるということを考慮すれば、国ごとに異なる方法論が必要となります。しかし、家族の土地を所有する権利、生産物を販売する権利や、自分の身体のことを自分で決める権利が侵害されるなど、女性が受けてきた不正義は社会にあふれています。

アフリカ大陸においては、このキャンペーンはまだ完全にツールとして活用しきれていません。南アフリカなどいくつかの国では、さまざまな問題に対処するためのキャンペーンの組織化に進展がありました。方法論を含め、キャンペーンへの動員力の不足や法規制など、制約がある国もあります。

多くの国で女性に対する暴力が増加しており、家庭内暴力が殺人や女性の自殺という結果につながった時だけしか抗議が起こらないというのは、大きな弊害です。命が失われる前に、男性も女性もジェンダーにもとづく暴力について声をあげ非難できるようにするため、この問題でのキャンペーンに関する努力を強める必要性を感じています。

## 【Page 55】

### ウェンディ・クルス、LVC ホンジュラス

私たちの組織では、このキャンペーンはさまざまな種類の暴力に対処するうえでとても重要でした。国内のフェミニズム運動と協力して態度を決め行動を組む際の訓練プロセスでも使いました。

私たちは国内のフェミニスト団体と連携しています。私たちは、「11月25日プラットフォーム」と名付けた、広大なスペースを強化することもしました。これは、政治的主張と社会運動を結びつけ、女性のたたかいについての見解や考察、そして社会変革を実現し女性の権利を尊重する公平な社会を促進するための行動提起を練り上げる場です。

*「女性リーダーたちは、私たち自身が知識と個々のアクションで力をつけ、暴力を受けることのない人生のためにたたかい続けていくことをはっきり決意しています。何よりも、加害者や性差別をする男性のいない社会組織をつくるということ。これは困難な挑戦です。しかし私たちは、一日一日が、そして私たちの行動のひとつひとつが、暴力を受けずに生きる私たちの権利を守るものであると確信しています。」*

新型コロナパンデミックのもと、殺害される女性の数が増加し、私たちの地域のすべての国で殺害事件が報告されています。とりわけ隔離措置をとった国において、その間に女性たちがパートナーによって残虐に扱われました。今こそ、私たちは声をあげ、ピア・カンパシーナの女性も男性も、ともに叫ぶことを呼びかけましょう。

**女性に対する暴力を終わらせよう**

## 【Page 56】

### #ステイホームでも沈黙はしない

農村でも、都市でも、私たちは女性、子ども、LGBTIQ ほか弱い立場の人々に対する暴力を止めようと呼びかける。

暴力の被害を受けたら、もしくは暴力を目撃したらどうするべきか？

- ・自分や他人を危険にさらさないよう注意しながら、地元の警察やさまざまなコミュニティ当局に助けを求めましょう。
- ・911 など自国の緊急通報番号に通報し、暴力を受けている女性のためのヘルプラインを確保しましょう。ロックダウン中も活動を続けている女性団体があります。シェルターに援助を求めることもできます。いくつかの国では、ロックダウン中に女性に安全な空間を提供できるようシェルターが設置されています。あなたを泊めてくれる友人や親戚がいる場

合は、ためらわず連絡しましょう。

- もし命の危険を感じたら、信頼できる友人などに居場所を知らせましょう。危険な状態にあることを知らせ、家族や友人へ助けを求めるための暗号をつくっておくことが大切です。
- 自分のことを明かしたくない場合は、匿名で通報しましょう。一番大事なことは安全でいることです。
- いくつかの国では、コロナ危機の中、司法の専門家が女性や家族に対する加害事例について 24 時間連絡を受け付けています。このサービスへのアクセスを要求しましょう。これはあなたの権利です。
- ロックダウンが明けたら、法的な助言を求め、正式に告訴しましょう。

不処罰を終わらせよう！  
連帯を世界に広げ  
希望を世界に広げよう！  
#農民の権利を今すぐに

詳細は [WWW.VIACAMPESINA.ORG](http://WWW.VIACAMPESINA.ORG)

## 【Page 57】

### 4. 知識を深めるために

公式宣言：

ビア・カンペシーナ

- ビア・カンペシーナ世界女性会議宣言（2006）
- Declaration Women's World Congress of La Via Campesina 2006

<https://viacampesina.org/es/wp-content/uploads/sites/3/2007/03/Memoria-Congreso-Feminismo-ES-2006.pdf>

- ビア・カンペシーナ第3回国際女性総会政治宣言（2008）
- Political Declaration III Women's Assembly of La Via Campesina 2008

<https://viacampesina.org/es/declaracion-la-iii-asamblea-de-lasmujeres-lvc/>

- ビア・カンペシーナ国際女性マニフェスト（2013）
- International Women's Manifesto of La Via Campesina 2013

<https://viacampesina.org/es/manifiesto-internacional-de-lasmujeres-de-la-via-campesina-2/>

- ビア・カンペシーナ第5回国際女性総会政治宣言（2017）
- Political Declaration V Women's Assembly of La Via Campesina 2017

<https://viacampesina.org/es/declaracion-politica-v-asamblea-de-mujeres-de-la-via-campesina/>

- ビア・カンペシーナ第6回 CLOC 女性総会政治宣言（2019）
- Political Declaration VI CLOC Women's Assembly of La Via Campesina 2019

<https://viacampesina.org/es/declaracion-vi-asamblea-de-mujeres-cloc-via-campesina/>

ラテンアメリカ農民組織調整機関（CLOC）－LVC:

Latin American Coordination of Peasant Organizations - LVC:

- 第4回ラテンアメリカ農村女性連絡会総会（CLOC）－ビア・カンペシーナ キト宣言（2010年）
- IV Assembly of the Articulation of Rural Women, CLOC - Via Campesina, Quito Declaration 2010

<https://cloc-viacampesina.net/iv-asamblea-de-la-articulacion-de-mujeres-del-campo-cloc-via-campesina-declaracion-dequito/>

## 【Page 58】

- 第5回 CLOC 女性総会宣言－ビア・カンペシーナ（2015）
- Declaration of the V Women's Assembly of CLOC- La Via Campesina 2015

<https://viacampesina.org/es/declaracion-de-la-v-asambleade-mujeres-de-la-cloc-la-via-campesina/>

- 第6回 CLOC 女性総会声明－LVC（2019）
- Statement VI Women's Assembly CLOC - LVC 2019

<https://cloc-viacampesina.net/declaracion-vi-asamblea-demujeres-cloc-lvc/>

記事：

- 「社会運動とジェンダー：ビア・カンペシーナのフェミニストの種まき」(2012)
- Social movements and gender. La Via Campesina's feminist sowing, 2012

[http://www.redcimas.org/wordpress/wpcontent/uploads/2012/10/mmss\\_ygenero.pdf](http://www.redcimas.org/wordpress/wpcontent/uploads/2012/10/mmss_ygenero.pdf)

- ビア・カンペシーナ ジャカルタ（インドネシア）第6回国際総会の開会と、農民と民衆のフェミニズム構築をめざす第4回国際女性総会（2013）
- Launching of the VI International Conference of La Via Campesina in Jakarta (Indonesia) with the IV International Women's Assembly to build peasant and popular feminism 2013

<https://viacampesina.org/es/arranca-la-vi-conferenciainternacional-de-la-via-campesina-en-yakarta-indonesia-con-la-iv-asamblea-internacional-de-mujeres-para-construir-elfeminismo-campesino-y-popular/>

- 農民と民衆のフェミニズム－CLOC 女性総会の討論（2015）
- Peasant and popular feminism - CLOC Women's Assembly Debate 2015

<https://viacampesina.org/es/feminismo-campesino-y-populardebate-asamblea-mujeres-cloc/>

- 農民と民衆のフェミニズム・トウモロコシを守るネットワーク（2016）
- Peasant and popular feminism. Network in Defense of Corn 2016

<http://redendefensadelmaiz.net/2016/05/feminismo-campesino-y-popular/>

- 農民と民衆のフェミニズム－第7回 LVC 国際総会（2017）
- Peasant and popular feminism - VII LVC Conference 2017

<https://viacampesina.org/es/feminismo-campesino-popularvii-conferencia-lvc/>

【Page 59】

- ビア・カンペシーナにおける25年間のフェミニズム（2017）
- 25 years of feminism in La Via Campesina 2017

<https://viacampesina.org/es/25-anos-gestacion-del-feminismo-la-via-campesina/>

- 「私たちは大地の守護者であり、資源の存在するところで生き、私たちの任務は将来の世代に目を向けたたかい、それを守ることである」(2017)
- "We are the guardians of the earth, we live where the resources are, and our task is to fight and preserve them by looking to future generations" 2017

<https://viacampesina.org/es/8960-2/>

- 農民のたたかいにおけるフェミニズムの理解 (2017)
- Understanding feminism in the peasant struggle 2017

<https://viacampesina.org/es/comprender-feminismo-la-lucha-campesina/>

- 農民と民衆のフェミニズム。Humanitas Unisinos 研究所
- Peasant and Popular Feminism. Instituto Humanitas Unisinos 2017

<http://www.ihu.unisinos.br/161-noticias/noticiasespanol/569942-feminismo-campesino-y-popular>

- 農民と民衆のフェミニズム シルビア・リベイロ (2017)
- Peasant and popular feminism. Silbia Ribeiro 2017

<https://www.republica.com.uy/feminismo-campesino-popular/>

- ラテンアメリカにおいて女性であり農民であることの代償
- The price of being a woman and a peasant in Latin America

<https://viacampesina.org/es/precio-mujer-campesinalatinoamerica/>

- ビア・カンペシーナの農民、ジェンダー多様性と性的指向について運動内部での討論を開始
- La Via Campesina Farmers Launch Debate on Gender Diversity and Sexual Orientation in the Movement

<https://viacampesina.org/es/campesinxs-la-via-campesinainician-debate-la-diversidad-genero-orientacion-sexualmovimiento/>

- 農民と民衆のフェミニズムから人権を構築する (2018)
- Building Human Rights from Peasant and Popular Feminism 2018

<https://viacampesina.org/es/construccion-de-los-derechoshumanos-desde-el-feminismo-campesino-y-popular/vii>

【Page 60】

- 農民と民衆のフェミニズムー農民女性から世界への提案（2018）
- Peasant and popular feminism- A proposal by peasant women for the world 2018  
<https://viacampesina.org/es/la-agroecologia-solo-es-posiblecambiando-las-relaciones-de-dominacion-y-expropiacioncontra-las-mujeres/>
- 世界の農民女性：彼女たちのたたかいはこれだ（2018）
- Peasant women of the world: this is their fight 2018

<https://viacampesina.org/es/mujeres-campesinas-del-mundo-esta-es-su-lucha/>

- 「女性に対する支配と搾取の関係を変えることによつてのみ農業経済は可能になる」（2018）
- "Agroecology is only possible by changing the relations of domination and expropriation against women" 2018

<https://viacampesina.org/es/la-agroecologia-solo-es-posiblecambiando-las-relaciones-de-dominacion-y-expropiacioncontra-las-mujeres/>

- 一目瞭然の多くの側面：「私たちは女性と人々のすべてのたたかいを支持する」（2018）
- At a glance but with many sides to it: "We support all struggles of women and people who fight" 2018

<https://www.grain.org/fr/article/entries/5936-de-un-vistazo-ymuchas-aristas-estamos-con-las-luchas-de-todas-las-mujeres-y-los-pueblos-que-luchan>

- 農民と民衆のフェミニズムをめざすたたかい（2019）
- The Struggle for Peasant and Popular Feminism 2019

<https://radio.uchile.cl/2019/06/19/las-luchas-por-el-feminismo-campesino-y-popular/>

- 農民女性が主人公であることと、農民と民衆のフェミニズム（2019）
- Protagonism of Peasant Women and Peasant and Popular Feminism 2019

<https://cloc-viacampesina.net/protagonismo-de-las-mujerescampesinas-y-el-feminismo->

[campesino-y-popular/](https://viacampesina.org/es/las-luchas-de-las-mujeres-porel-feminismo-campesino-y-popular/)

- 農民と民衆のフェミニズムをめざすたたかい（2019）
- The struggle for peasant and popular feminism 2019

<https://viacampesina.org/es/las-luchas-de-las-mujeres-porel-feminismo-campesino-y-popular/>

- 「フェミニズムとともにわれわれは社会主義を構築する」 CLOC-LVC 女性は語る（2019）
- "With feminism, we build socialism", say women of the Cloc - LVC 2019

<https://cloc-viacampesina.net/con-feminismo-construimosocialismo-afirman-mujeres-de-la-cloc-lvc/>

## 【Page 61】

- 農民と民衆のフェミニズムー農民と労働者階級のアイデンティティ（2020）
- Peasant and Popular Feminism, the Identity of Peasants and the Working Class 2020

<https://viacampesina.org/es/el-feminismo-campesino-y-popular-la-identidad-de-las-campesinas-y-de-la-clasetrabajadora/>

- フェミニスト経済と民衆の農民フェミニズムがキューバで再会（2020）
- Feminist economics and popular peasant feminism reunite in Cuba 2020

<https://www.mundubat.org/la-economia-feminista-y-elfeminismo-campesino-popular-se-reencuentran-en-cuba/>

- 農民のフェミニズムの種をまけば、自由を収穫できる（2020）
- If you sow peasant feminism, you will harvest freedom 2020

[http://www.biodiversidadla.org/Agencia-de-NoticiasBiodiversidadla/Siembra-feminismo-campesino-y-cosecharas-libertad?fbclid=IwAR3AX\\_BqM9UNXuqDzwwgAeE\\_-fOYUIr007GKCBZjOuvLiPOpIBMS2QG-R32E](http://www.biodiversidadla.org/Agencia-de-NoticiasBiodiversidadla/Siembra-feminismo-campesino-y-cosecharas-libertad?fbclid=IwAR3AX_BqM9UNXuqDzwwgAeE_-fOYUIr007GKCBZjOuvLiPOpIBMS2QG-R32E)

- 農民女性のたたかいを継続させる（2020）エリザベス・ムポフ著
- Keeping the Struggles of Peasant Women Alive 2020 Written by Elizabeth Mpofo

<https://fairworldproject.org/keeping-the-struggles-of-peasantwomen-alive/>

- 食料主権のための農業経済（2020）
- Agroecology for Food Sovereignty. 2020

<http://cajondeherramientas.com.ar/wp-content/uploads/2020/08/Agroecolog%C3%ADa-para-la-Soberan%C3%ADa>

ビデオ：

ビア・カンペシーナ

- 多くの未来を創造する農村女性—LVC（2013）
- Peasant Women Building Many Futures - LVC 2013

<https://vimeo.com/60368001>

- ビア・カンペシーナ第4回国際女性総会 インドネシア・ジャカルタ、2013年6月6-7日
- IV International Women's Assembly of La Via Campesina. Jakarta - Indonesia. 6-7 June 2013.

<https://vimeo.com/67873641>

- 女性農民：たたかいと希望の種をまく者たち！フェミニズムと食料主権のために！（2013）
- Women Farmers; Sowers of Struggles and Hopes! For Feminism and Food Sovereignty! 2013

<https://vimeo.com/67864437>

【Page 62】

- 第5回国際女性総会—2017年7月17-18日
- V International Women's Assembly - 17 to 18 July 2017

<https://vimeo.com/226203604>

CLOC—LVC:

- アメリカのたたかい—第5回 CLOC-ビア・カンペシーナ総会（2010）
- America Struggles - V Congress of CLOC-Via Campesina 2010

<https://www.youtube.com/watch?v=p1JHbdHeyul>

- 女性への暴力の根絶 (2011)
- End Violence Against Women 2011

<https://youtu.be/LKYidMP1KdY>

- 第5回フェミニスト集会 パラグアイ (2013)  
農民と民衆のフェミニズムーフランシスカ・ロドリゲス ANAMURI (チリ)
- V Feminist Gathering in Paraguay 2013

Peasant and popular feminism - Francisca Rodriguez ANAMURI (Chile)

<https://www.youtube.com/watch?v=IxAwCAXmq9I&feature=youtu.be>

- CLOCービア・カンペシーナ女性会議 第1日 (2014)
- CLOC-Via Campesina women's meeting. Day 1 2014

<https://www.youtube.com/watch?v=pqQ461RTSOw&list=UUPvTTwgtjxzryROOzTwzszw&index=266>

- CLOCービア・カンペシーナ女性会議 第4日 (2014)
- CLOC-Via Campesina women's meeting. Day 4 2014

[https://www.youtube.com/watch?v=OQpXG56F\\_5s&list=UUPvTTwgtjxzryROOzTwzszw&index=257](https://www.youtube.com/watch?v=OQpXG56F_5s&list=UUPvTTwgtjxzryROOzTwzszw&index=257)

- 第5回 CLOC 女性総会 第2日
- V CLOC Women's Assembly / Day

[https://www.youtube.com/watch?v=ZzD2LK0JVs8&list=PLfO\\_Fmgs7nvDAQBDGIVW4\\_4zWcDbLeGb6&index=4](https://www.youtube.com/watch?v=ZzD2LK0JVs8&list=PLfO_Fmgs7nvDAQBDGIVW4_4zWcDbLeGb6&index=4)

- 第5回 CLOC 女性総会の始まり (2015)
- The beginning of the V Women's Assembly of CLOC 2015

[https://www.youtube.com/watch?v=EEhjKGomC4&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=EEhjKGomC4&feature=emb_logo)

- 農民と民衆のフェミニズムの構築 (2019)
- Building Peasant and Popular Feminism 2019

<https://www.youtube.com/watch?v=n0UsYZ2TOgo>

- パラグアイと農民と民衆のフェミニズム（2020）
- Paraguay and Peasant and Popular Feminism 2020

<https://www.youtube.com/watch?v=pYMNag-x4co>

### 【Page 63】

ビア・カンペシーナは、世界中の多くの農民、中小規模農家、土地を持たない人々、農村の女性や若者、先住民、移民、農業労働者を結集した国際的な運動です。世界中の多くの農民、中小農民、これらのグループの間の強い団結と連帯に基づいて、ビア・カンペシーナは、社会正義と尊厳を促進する方法として、食料主権のための小農による農業を擁護し、社会的関係と自然を破壊する大企業主導の農業に強く反対しています。

ビア・カンペシーナは、アフリカ、アジア、ヨーロッパ、アメリカの 81 カ国にある 182 の地方組織と各国組織で構成されており、全体で約 2 億人の農民を代表しています。ビア・カンペシーナは、自立した多元的、多文化的な運動であり、いかなる政党からも独立し、財政的その他の所属関係も持たず、社会正義を求める政治的な活動を行っています。

2021 年 5 月